

小児の 全身麻酔下 歯科治療

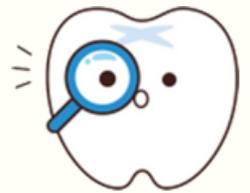


当科では、2泊3日の入院のもと、小児（年齢の目安は9歳くらいまで）に対する全身麻酔下歯科治療を実施しています。

子どもは歯科治療に対して痛みや不安、恐怖を感じることもあり、じっと我慢して治療を受けることが難しい場合があります。また、ご家庭の事情により、頻回な通院が困難な場合もあります。このような場合には、歯科治療をスムーズかつ安全に行うために全身麻酔下歯科治療を行うことがあります。

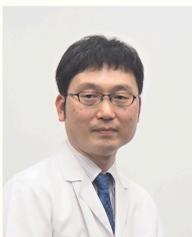
全身麻酔下歯科治療が必要なケース

- 不安や恐怖が強い
- 患児の年齢が非常に幼い
- 一度に複数の重篤な虫歯の治療が必要
- 知的能力障害のため意思疎通が困難



当科では、小児の口腔領域の発育をサポートするための健診や、虫歯の治療、歯の外傷等幅広い小児歯科治療を行っております。

当院の強みである小児科とも連携しながら小児歯科治療を行っております。全身麻酔下歯科治療が必要なケースや、歯科治療でお困りの際はご相談下さい。



～医師紹介～

歯科主任部長

渡辺 幸嗣（わたなべ こうじ）

日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医指導医

日本障害者歯科学会認定 障害者歯科認定医



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立八幡病院
Kitakyushu City Yahata Hospital

全身麻酔下治療の流れ

① 歯科初診

状態確認治療日程の決定、相談

.....

② 入院に関するご説明

.....

③ 小児科と麻酔科による術前の診察

.....

④ 治療（2泊3日）、付添入院が必要

.....

⑤ 術後診察

.....



小児歯科治療で大切にしているポイント

■ 将来子どもを虫歯にしないための情報提供

■ 子どもの口腔の発育を全面的にサポート

離乳相談、虫歯の予防と治療、乳歯から永久歯へのスムーズな生え変わりのサポート等

■ 発達障害の子どもに対して個々の状況に応じた歯科治療を検討

ある程度意思疎通ができる子どもに対しては、視覚支援を用いながら構造化を行ったり行動療法を用いたりして、歯科治療に適応していただけるよう努めます。

■ 子どもの周術期口腔管理

入院中・手術前後など体力や免疫力が低下している子どもにとって、口腔内の細菌は大敵であり、様々な全身感染症のリスクが高くなります。

その全身感染症の予防のために、一人ひとりの口腔状態に合ったブラッシング舌ケア・口腔内の保湿などを行い、口腔環境を整えることを大切にしています。